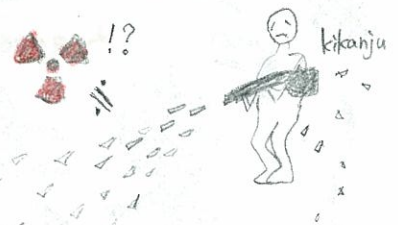


学習会「放射能が人体に及ぼす影響」について（8月28日）の報告



放射能と放射線の違いなど放射能に関する基礎的なこと

*放射線…まだ活発な状態の原子が落ち着いた状態の原子に変わろうとする時に放出するエネルギー。

単位は Gy (グレイ) …「人体にどれだけ吸収されたか」

Sv (シーベルト) …「人体への影響はどうか」といった種類があります。

*Gy は物理的に測定するものですが、Sv に関しては放射能の種類によって人体への影響も異なってきます。その係数は今までの経験や統計等に基づいて算出される数値になります。

*放射能…放射線を出す能力、またはその能力を持った物質。

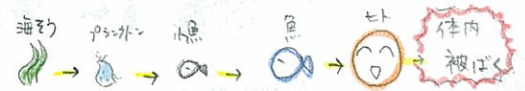
単位は Bq (ベクレル) …「どれだけ放射線が出ているか」

*放射線・放射能の特徴…五感に感じない、毒性を消す事ができない、時と共に毒性が減少、各々の放射能が化学的性質のよく似た物質と同じような行動をとり、人間の体内に取り込まれ内部から被ばくする。

「被ばく」とは 放射線 (α線、β線、γ線、中性子線、等) は私たちの身体を構成している原子の軌道電子に影響を与え、DNA や細胞レベルで損傷を与えることです。自己修復能力を超えた時に放射線による影響は症状として現れ、ひどい場合は死に至ります。

体外被ばくと体内被ばく

体外被ばく = 体外にある放射線によって被ばくすること。



体内被ばく = 水や食べ物に放射能が含まれていてそれを摂取すると体内の似た組織に取り込まれてとどまり、そこから放射線を浴びる被ばくのこと。食物連鎖の中で放射能は濃縮・蓄積作用があり、体内被ばくが助長されると懸念されます。

被ばくによる様々な身体症状

頭痛・だるさ・髪が抜ける・やけど・白血病・白内障・吐き気・下痢・不妊症・貧血・出血傾向・呼吸障害・手足のしびれや麻痺・痴呆・性格の変化・やる気がなくなる・大脳が萎縮する等

安全とされている被ばく量

日本では一般に一年間に浴びても健康上問題ないとされる放射線の被ばく線量を 1mSv と設定しています。*これだけ浴びても影響が出ないということではなく、これ以下に抑えたほうが安全だという予防的な意味合いを持つ数値として設定されたものです。

再処理工場から出る放射能

…クリプトン 85、トリチウム、ヨウ素 129、プルトニウム等があります。

*クリプトン 85 は技術的に回収可能ですが、費用や貯蔵と処理の問題などで回収を放棄。

*ヨウ素は人工的なもので半減期 (放射能の強さが半分になるまでの期間) が 1570 万年であること、自然なヨウ素は成長ホルモンを作り出す為に貴重な物であり人の体は人工のヨウ素でもすぐ取り込もうとします。ということは特に胎児にとって大きな影響 (甲状腺がん等) を及ぼします。

等を学習しました。最後には様々な質問、話しが活発になりました。

*青森県産の食べ物は安全か? →本格稼働はしていないのでまだ、大丈夫では?

ただ、今後黙って買わなくなるのは生産者が困るだけなので、今から買い物の際にお店へ一言でも、再処理工場の問題 (再処理工場動いたら青森産は放射能入りになるので困る…等) を伝える事で再処理工場をどうするべきかを議論する広がりのおかげにつながるのではないかな。その選択をすることで青森の生産者を護る事にもつながるのではないかな。

感想: 日本原燃や国・県は再処理工場が本格稼働すると放射能による人体への影響は、多くて 0.022mSv なので大丈夫だ、という説明をしますが安心できず、再処理工場を止めたい気持ちになりました。

